

# 「横芝光町 男女共同参画についての意識調査」の結果をお知らせします

横芝光町は、男女が互いに尊重しあい、だれもが暮らしやすい地域社会を実現するため、町民と行政の共通の目標となる「男女共同参画基本計画」（計画期間平成21～30年度）の策定を進めています。このたび、計画の策定のために実施した「男女共同参画についての意識調査」の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

なお、詳細な結果は町ホームページに掲載の予定です。

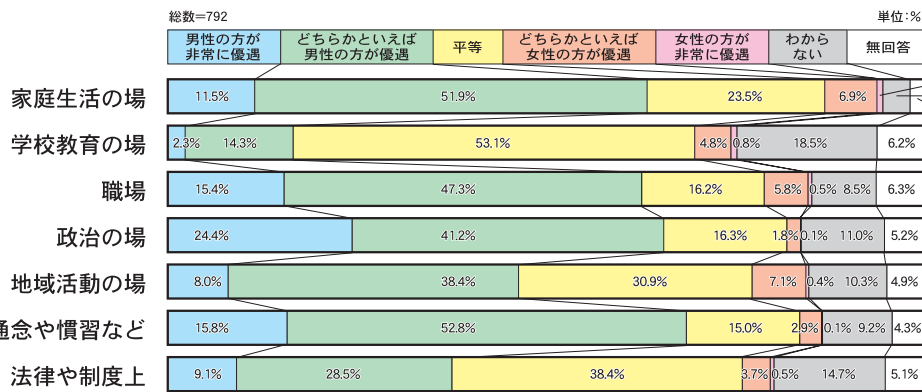
## 【調査の概要】

- 16歳以上の住民2千人の方々を対象に、郵送配布 郵送回収により実施しました。
- 調査期間は平成18年10月11日～31日でした。
- 729件の回答があり、有効回答率は36・5%でした。
- 主な調査項目は次のとおりです。
  - (1) 男女の地位の平等感
  - (2) 家庭生活や地域活動について
  - (3) 職場について
  - (4) 行政や企業の方針決定への参画について
  - (5) 女性に対する暴力について
  - (6) 男女共同参画社会実現のために必要なこと

## (1) 男女の地位の平等感

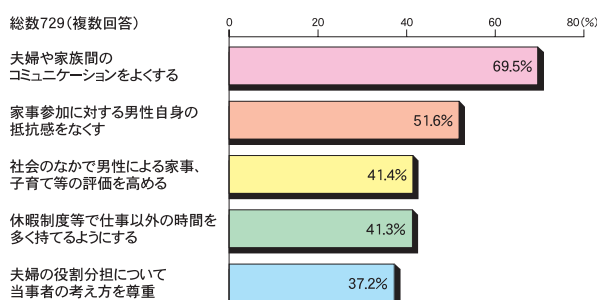
◇学校教育は男女平等、家庭生活、政治の場、社会通念や慣習は男性優遇（図1）。家庭生活や職場などの7つの分野のうち、「学校教育の場」は半数以上が「平等」と回答しており、もっとも平等な分野と考えられています。一方、「家庭生活」

図1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。



「政治の場」「社会、通念や慣習」は、男性の方が非常に優遇」とどちらかといえば男性のほうに優遇”を合計した割合が高く、男性優遇の分野と考えられています。

図2 男性が女性とともに、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



## (2) 男性が家事や介護などに参加するために必要なこと

◇夫婦のコミュニケーションが最も必要（図2）。

男性が、女性とともに家庭や地域活動などに積極的に参加するため必要なこととして、「夫婦のコミュニケーションをよくする」（65%）が最も高い割合となっています。このほか、「家事参加に対する男性自身の抵抗感をなくす」「社会のなかで男性による家事、子育て等の評価を高める」「休暇制度等で仕事以外の時間を多くもてる様にする」が挙げられています。